

様式第2号（第21条関係）

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 宮下 宗一郎 殿

隊員氏名 山田 菜生子

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2022年9月分】

1. 実施した活動の概要・状況

9月は「かわうち・まりん・びーち ライトアップフェス 2022」、「むつホタテフェスティバル」を実施し、どちらも多くの来場者を迎え、大盛況となった。また、当法人のインターンシップ生による広報誌も完成し、日々の活動やイベントについて、また川内町について多角的に捉える機会が多くあった。

〈主な活動〉

○9月3、18日 高校生インタビュー事業

7月から引き続き、青森県教育委員会委託の若者育成事業の一環として「川内町の先輩にインタビュー！in むつ市川内町」事業を行い、3日には「川内町と海」をテーマに川内漁協青年部部長の上小倉氏にインタビューを行った。また、18日には記事作成のためのワークショップを実施し、インタビュー内容を反映した記事の表紙について2年生2名に考えてもらった。今後は、12月に予定している発表会に向け記事作成を引き続き進めていく。



海ゴミ問題についてインタビューする様子



表紙デザインについて話し合う高校生

○9月9、10日 かわうち・まりん・ビーチライトアップフェス 2022

協力隊員も参加している任意団体「Reborn かわうち実行委員会」による主催イベント「かわうち・まりん・ビーチライトアップフェス 2022」を実施した。花火の打ち上げから始まった本イベントでは、目玉であるペットボトルを再利用したキャンドルロードに加え、ランタンやハンモックを設置したキャンプエリア、マリンアクティビティやヨガ、ニュースポーツなどの体験エリア、さらに飲食店ブースなどを設置し、来場者の方に川内の魅力を再発見してもらえるよう促した。当法人では、海での宝探し体験、シュノーケリング体験、SUP・カヤック体験などのマリンアクティビティ体験の企画・運営を担当し、どれも体験利用者の方々から嬉しい感想を頂いた。



ライトの灯りの中ハンモックに乗り、くつろぐ様子



シーカヤック体験の様子

○9月11日 むつホタテフェスティバル

ライトアップフェスの翌日、11日には体験館にて、NPO 法人シェルフオレスト川内主催、川内町漁業協同組合ご協力の「むつホタテフェスティバル～海と日本 PROJECT～」を実施した。イベント開始前から多くのお客様にご来場いただき、ホタテのオリジナルメニューは全商品完売となった。イベント内では、ホタテの釣り体験や帆焼き体験、貝殻を利用したフライングディスク体験など、様々なアクティビティを実施し、担当となったホタテのデコパージュ工作体験では、お子さんだけでなく保護者の方々もそれぞれ思い思いの作品をこだわりをもって作る様子が見られた。



工作の仕方について説明する様子



ホタテに花束を描いた作品

○9月15日 インターン生による広報誌が完成

8月に始まった1か月間の大学生インターンシップが終了し、15日、体験館にて成果報告会を実施した。広報誌作成のために行った体験館の認知度調査に同行した際には、体験館の認知度が想定よりかなり低く、協力隊の活動が地域にほとんど浸透していないということを痛感した。また、報告会では、広報誌「しえるメール」に込められた想いや、大学生からみた川内町の魅力や課題についての発表を受け、今後の地域おこし活動について改めて考えるきっかけになった。

なお、「しえるメール」は体験館、また法人の広報誌として今後も不定期で発行していく予定である。



成果報告会の様子



体験館の認知度調査の様子

2. 翌月の活動予定

10月は下記の活動に加え、引き続きカマイルカの骨格標本作成作業を行う。

10月2日 JSPA SUP ベーシックインストラクター検定

10月8、9日 川内町アクティビティ モニターツアー

10月16日 川の生き物調査イベント

10月23、30日 若者育成事業